



TUE-T100

TVチューナー

取扱説明書

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号
FAX: 03-3494-1767 TEL: 03-3779-0711

- 電話受付時間 土日祝日を除く 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
- 電話は混雑が予想されます。FAXかハガキをおすすめします。
- アルパインホームページ : <http://www.alpine.co.jp>

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan

目次

安全にお使いいただくために

目次	3
警告 / 注意	4
リモコンの電池交換	6

TV放送を見る

電源のON/OFF	8
音量を調整する	8
TVバンドを切りかえる	9
トラベルプリセット機能を使う	9
音声をFMラジオで聴く（FMトランスミッター機能）	9
放送局を記憶する	10
記憶した放送局を呼び出す	11
放送局をさがす	12
チャンネルNo. から放送局を呼び出す	12
TVの音声を切りかえる（二重音声放送）	13

映像を調整する

操作音の切りかえ	14
エリア機能を使う	14

取り付けと接続

取り付けと接続	16
---------	----

その他

リモコン操作対応表	21
故障かな？と思ったら	22
保証について / 規格	23
お問い合わせ窓口	25

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

車体に穴をあける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないで下さい。制動不能・火災の原因になります。



助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないで下さい。火災・故障の原因になります。



禁止

車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



アンテナは、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取り付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。



禁止

車以外には使わないで下さい。感電・ケガの原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り扱い上のご注意

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するために、やさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

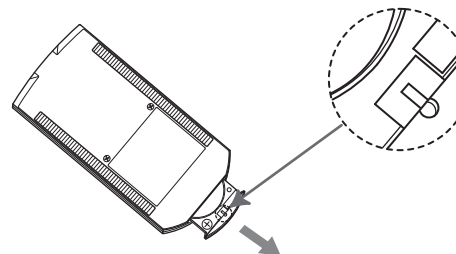
車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

お読みください

- 車内に本製品を含む弊社TVモニターを2台以上設置する場合、リモコン操作により誤作動する可能性がありますのでご注意ください。

リモコンの電池交換

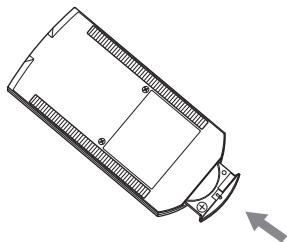
- 1 下記の穴にボールペンなど先のとがったものを差し込み、矢印の方向へ押し出します。



2 電池の+側を上にして置きます。



3 カチッと音がするまで押し込みます。



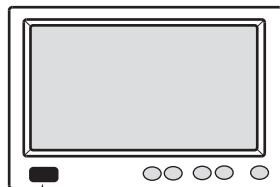
リモコンの取り扱い上のご注意

- リモコンは直射日光の当たるところには置かないでください。長時間放置すると変形や変色したり、故障の原因になります。
- リモコン信号受信部に直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- TVモニターを長い期間使用しないときは、リモコンの電池を取り出してください。取り出した電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池は充電しないでください。液漏れの原因になります。
- 電池の液漏れが起こったときは、付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れかえてください。
- リモコン操作の感度が下がってきたときは、新しい電池と交換してください。

アドバイス

* リモコンを操作するときは、リモコンの先端をモニター側のリモコン信号受信部に向けて（2mかつ上下左右30度以内）お使いください。

* 外付けリモコン受光部（別売）を接続した場合は、そちらに向けてお使いください。



リモコン信号受信部（例）

TV放送を見る

電源のON/OFF

- 1 TVチューナーを接続しているモニター本体の電源を入れ、入力モード（AUXなど）を選択します。
- 2 リモコンの **(POWER)** ボタンを押し、TVチューナーの電源をいれます。
TVチューナーの電源が入り、画面にTV映像が表示されます。

音量を調整する

- 1 リモコンの **(VOLUME+)** / **(VOLUME-)** ボタンまたは、モニターの **(V)** / **(A)** スイッチを押します。
音量の調整は、**(VOLUME+)** ボタン / **(A)** スイッチを押すと大きくなり、**(VOLUME-)** ボタン / **(V)** スイッチを押すと小さくなります。

アドバイス

- * パーキングブレーキをかけなければ、テレビを見ることはできません。
- * パーキングブレーキをかけていないときに操作すると、「PICTURE OFF FOR YOUR SAFETY」と表示して、複雑な操作を受け付けません。
- * 操作した内容は数秒間画面に表示されます。
ただし、受信状態の良くないチャンネルを受信しているときは、映像が黒画面となり、操作内容が数秒間表示されます。
- * エンジンを停止させた状態で長時間使用すると、バッテリー上がりの原因となります。
- * リモコンの **(BAND)** ボタンを押すと、TVバンド（TV1/TV2/TV3）を切りかえられます。
- * TVチューナーは電源のON/OFFに関わらず、車のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると自動的に電源が入りますが、故障ではありません。

TVバンドを切りかえる

TVモードはTV1とTV2、TV3の3つあります。それぞれに放送局を記憶できます。

- 1 リモコンの **(BAND)** ボタンを押します。
押すごとにTV1とTV2、TV3を切りかえます。



トラベルプリセット機能を使う

現在、受信中の放送局の電波が弱くなり、受信できない状態が続くと自動的に受信可能な放送局を調べて記憶します。遠距離ドライブのときにお使いになると便利です。

- 1 リモコンの **(BAND)** ボタンを押してTV3を選びます。
放送局を約20秒以上受信できないと自動的に受信可能な放送局を調べて記憶します。
その後、記憶した放送局リストを5秒間表示します。

音声をFMラジオで聴く (FMトランスミッター機能)

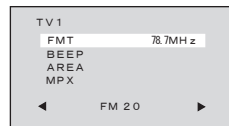
FMトランスミッター機能を使うと、テレビやVTRの音声をFMラジオで聴くことができます。

- 1 お手持ちのFMラジオの周波数を、一般のFM放送局が入らない周波数に合わせます。
周波数は、76.8MHz から 78.7MHz の間で合わせてください。

- 2 TVまたはAUX画面のとき、リモコンの **(SET UP)** ボタンを押します。
調整メニューを表示します。

- 3 リモコンの **△ / ▽** ボタンを押して、「FMT. (FMトランスミッター)」を選びます。

- 4 リモコンの **◀▶** ボタンを押して、手順1で合わせたFMラジオと同じ周波数に設定します。
◀を押すと周波数がダウンし、**▶**を押すと周波数がアップします。
周波数は 76.8MHz から 78.7MHz まで、0.1MHz 単位で設定できます。



アドバイス

TVバンドを切りかえる

- * 通常はTV1、旅行などの移動先ではTV2、ドライブなどでは自動で受信可能な放送局を調べて記憶するTV3を使用すると便利です。

トラベルプリセット機能を使う

- * トラベルプリセット機能は、TV3モードのみ使用できます。

- * 周波数は、既存のFM局から 0.4MHz 以上離すことをお勧めします。

- * 音量調整はFMラジオ側で調整してください。モニター側の音量は小さくしておくとういでしょう。

- * 例えばFMラジオで 77.4MHz にあわせた場合、FMトランスミッターの周波数も 77.4MHz に設定します。

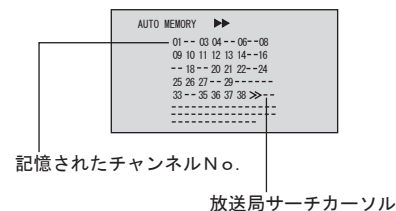
放送局を記憶する

● オートメモリー

放送局はワンタッチ操作で自動的に記憶することができます。

- 1 リモコンの **(BAND)** ボタンを押して、記憶させたいバンドを選ぶ。

- 2 リモコンの **(A.MEMO)** ボタンを押します。
「AUTO MEMORY」と表示し、受信可能な放送局をサーチ、記憶します。同時に画面にチャンネル番号を小さい順に表示します。
放送局を記憶したあと、もとのチャンネルが記憶されたチャンネルNo. に含まれている場合は、そのチャンネルを受信します。
もとのチャンネルが記憶されたチャンネルNo. に含まれていない場合は、プリセットアップ選局を行います。



● マニュアルメモリー

放送局を手動で記憶することができます。

- 1 リモコンの **(BAND)** ボタンを押して、記憶させたいバンドを選ぶ。

- 2 リモコンの **◀▶** ボタンを押して、記憶させたい放送局を受信します。

- 3 NAVIリモコンの **(現在地)** ボタン (CHCALL) を押して、CHリストを表示します。



記憶されているチャンネル番号を小さい順に表示します。また、現在受信しているチャンネルを黄色で表示します。

- 4 NAVIリモコンの **(現在地)** ボタンを2秒以上押すと、現在受信しているチャンネルを記憶します。

アドバイス

- * 放送局は62CHまで記憶できます。
- * TV1およびTV2、TV3モードそれぞれに記憶できます。
- * 受信状態によって、映りの悪い放送局を記憶する場合があります。
- * 受信可能な放送局がなかった場合は「NO PRESET」と表示後、前回記憶していた放送局に戻ります。
- * 記憶中に表示されるチャンネルNo.は記憶終了後、しばらくすると自動で消えます。
- * 本機に対応したNAVIリモコンがない場合は、手動での記憶はできません。

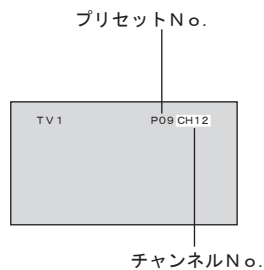
記憶した放送局を呼び出す

● プリセット選局

「放送局を記憶する（オートメモリー）」で記憶した放送局の中から、放送局を選ぶことができます。

1 リモコンの△/▽ボタンを押します。

△を押すとチャンネルがアップし、▽を押すとチャンネルがダウンします。



放送局を選局すると、約5秒間チャンネルNo.を表示します。

● プリセットスキャン

「放送局を記憶する（オートメモリー）」で記憶した放送局を、5秒間ずつ順番に連続選局できます。

1 リモコンの[A.MEMO]ボタンを2秒以上押します。

「PRESET SCAN」と表示し、一番小さい放送局から、5秒間ずつ順番に選局します。一番大きい放送局まで選局が終わったら、もとのチャンネルに戻ります。連続選局中にリモコンの[A.MEMO]ボタンを押すと、そのときのチャンネルを受信したまま、連続選局を終了します。

放送局を探す

● 手動で放送局を選ぶ

「放送局を記憶する（オートメモリー）」で記憶した放送局にかかわらず、1チャンネルずつ放送局を探ることができます。

1 リモコンの◀▶/▶▶ボタンを押します。

◀▶を押すとチャンネルがダウンし、▶▶を押すとチャンネルがアップします。放送局を選局すると、約5秒間チャンネルNo.を表示します。

● 自動的に放送局を探す

「放送局を記憶する（オートメモリー）」で記憶した放送局にかかわらず、受信できる放送局を探ることができます。

1 リモコンの◀▶/▶▶ボタンを2秒以上押します。

◀▶を押すとチャンネルがダウンし、▶▶を押すとチャンネルがアップします。画面には「SEEK」と表示されます。放送局を受信すると自動的にストップし、約5秒間チャンネルNo.を表示します。さらに、別の放送局を探したい場合は、同じ操作を繰り返し行います。

アドバイス

- * 受信状態によって、映りの悪い放送局を選択する場合があります。

- * 操作した内容は数秒間画面に表示されます。ただし、受信状態の良くないチャンネルを受信しているときは、映像が黒画面となり、操作内容が数秒間表示されます。

チャンネルNo.から放送局を呼び出す

TV放送局のチャンネルNo.がわかっていれば、ダイレクトに放送局を呼び出すことができます。

1 リモコンの[10キー]を使い、チャンネルNo.を入力します。

「4チャンネル」なら①と④を、「56チャンネル」なら⑤と⑥を押します。

1桁目に⑦～⑨を押すと、7～9チャンネルを直接呼び出すことができます。

1桁目に①～⑥を2秒以上押すと、1～6チャンネルを直接呼び出すことができます。

1桁目を入力後、5秒経過しても2桁目が入力されない場合は、1桁目に入力されたチャンネルを呼び出します。

TVの音声を切りかえる（二重音声放送）

ニュースや映画などの2ヶ国語放送や、スポーツの実況中継など、異なった2種類の音声放送（二重放送）を楽しむことができます。

- 1 リモコンの **SET UP** ボタンを押します。
調整メニューを表示します。
- 2 リモコンの **△/▽** ボタンを押して、「MPX.（二重音声放送）」を選びます。
- 3 リモコンの **◀▶** ボタンを押して、「MAIN(主音声)」または「SUB(副音声)」を選びます。
変更するごとに音声がかわります。
本機に対応したNAVIリモコンをお持ちの場合は、TV受信中に **View** ボタンを押して、切りかえることができます。



アドバイス

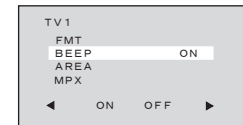
* 現在選局中の放送が二重音声になっていない場合は、MPX設定を変えても音声は変わりません。

映像を調整する

操作音の切りかえ

TV操作したときに「操作音（BEEP）」を鳴らして、操作を受けつけたことを伝える機能です。

- 1 リモコンの **SET UP** ボタンを押します。
調整メニューを表示します。
- 2 リモコンの **△/▽** ボタンを押して、「BEEP」を選びます。
- 3 リモコンの **◀▶** ボタンを押して、ON/OFFを選びます。



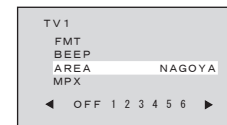
ON
TV操作時に「操作音」を鳴らします。

OFF
操作音は鳴りません。

エリア機能を使う

あらかじめ、記憶されている各エリアのTV放送局を呼び出すことができます。

- 1 TV画面（TV1またはTV2）のとき、リモコンの **SET UP** ボタンを押します。
調整メニューを表示します。
- 2 リモコンの **△/▽** ボタンを押して、「AREA」を選びます。
- 3 リモコンの **◀▶** ボタンを押して、いずれかのエリアを選びます。



- 4 通常画面に戻ったあと、リモコンの **△/▽** ボタンを押して、希望の放送局を選びます。

札幌 (SAPPORO)

仙台 (SENDAI)

プリセット No.	CH	放送局名	CH	放送局名
P01	01	HBC 北海道放送	01	TBC 東北放送
P02	03	NHK1 総合	03	NHK1 総合
P03	05	STV 札幌テレビ放送	05	NHK2 教育
P04	17	TVh テレビ北海道	12	OX 仙台放送
P05	27	UHB 北海道文化放送	32	KHB 東日本放送
P06	35	HTB 北海道テレビ	34	MMT 宮城テレビ放送

東京 (TOKYO)

名古屋 (NAGOYA)

プリセット No.	CH	放送局名	CH	放送局名
P01	01	NHK1 総合	01	THK 東海テレビ
P02	04	NTV 日本テレビ	03	NHK1 総合
P03	06	TBS 東京放送	05	CBC 中部日本放送
P04	08	CX フジテレビ	11	NBN 名古屋テレビ
P05	10	ANB テレビ朝日	25	TVA テレビ愛知
P06	12	TX テレビ東京	35	CTV 中京テレビ

大阪 (OSAKA)

福岡 (FUKUOKA)

プリセット No.	CH	放送局名	CH	放送局名
P01	02	NHK1 総合	01	KBC 九州朝日放送
P02	04	MBS 毎日放送	03	NHK1 総合
P03	06	ABC 朝日放送	04	RKB 毎日放送
P04	08	KTV 関西テレビ	09	TNC テレビ西日本
P05	10	YTV 読売テレビ	19	TVQ 九州放送
P06	19	TVO テレビ大阪	37	FBS 福岡放送

アドバイス

* TV3はトラベルプリセット機能が働きますので、エリア機能は使用できません。

* 登録エリアは上記の表をご覧ください。

* 「放送局を記憶する (オートメモリー)」の操作を行うと、エリア機能は解除されます。

取り付けと接続

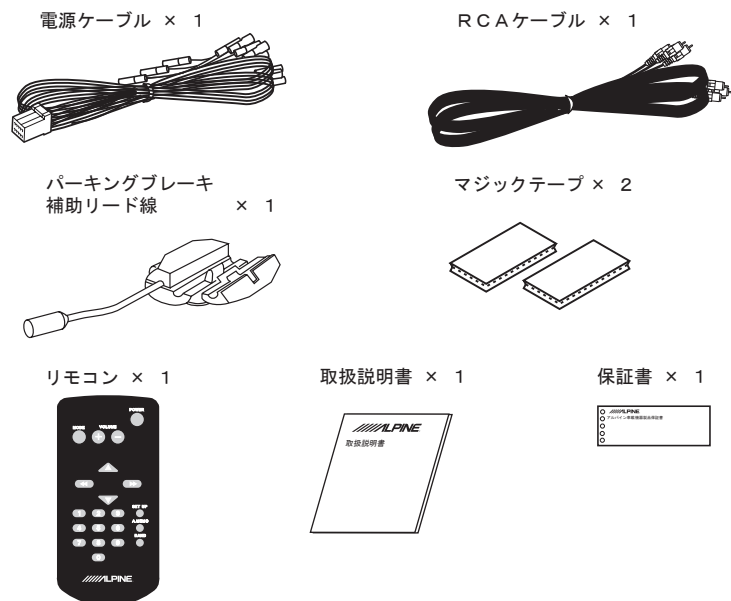
1. はじめに

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず「安全にお使いいただくために、必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しい接続をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

次のことに注意しながら、取り付け作業を進めてください。

- 本機の実取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げ店より入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- TVチューナーとモニター間の距離がありすぎて、付属のケーブルでは長さが足りない場合は、別売の延長ケーブルをお買い上げ店へご注文ください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードのことをいいます。
カーオーディオはもちろん、家庭のステレオ / ビデオ / テレビ等に幅広く採用されています。
白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 不明な点はお買い上げ店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

1 付属部品を確認し、工具 / 取り付け情報をそろえる。



一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品をなくしたり壊したりしたときは、お買い上げ店に問い合わせてください。

2 車を安全で平坦な場所に停める。

パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

2.TVチューナーの取り付け

1 TVチューナーを取り付ける。

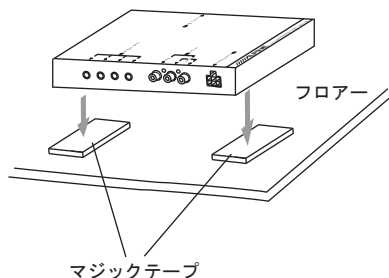
TVチューナー底面にマジックテープのざらざらした方を貼る。

2 取り付け位置にマジックテープを貼る。

マジックテープのやわらかい方を取り付け位置に貼り、TVチューナーを取り付ける。

Memo

カーペットによっては、マジックテープのやわらかいほうを貼りつけなくても固定できるものもあります。



3. 接続する

接続するごとに、☐OK に✓点をつけてください。

1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 バッテリーのマイナス端子を外す

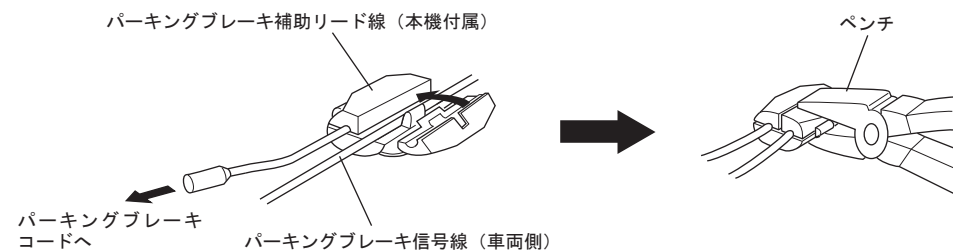
Memo

* コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリーが消えてしまうことがあります。

* 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

3 車両ハーネスを確認する

必要に応じてパーキングブレーキ補助リード線を装着する



4 接続する

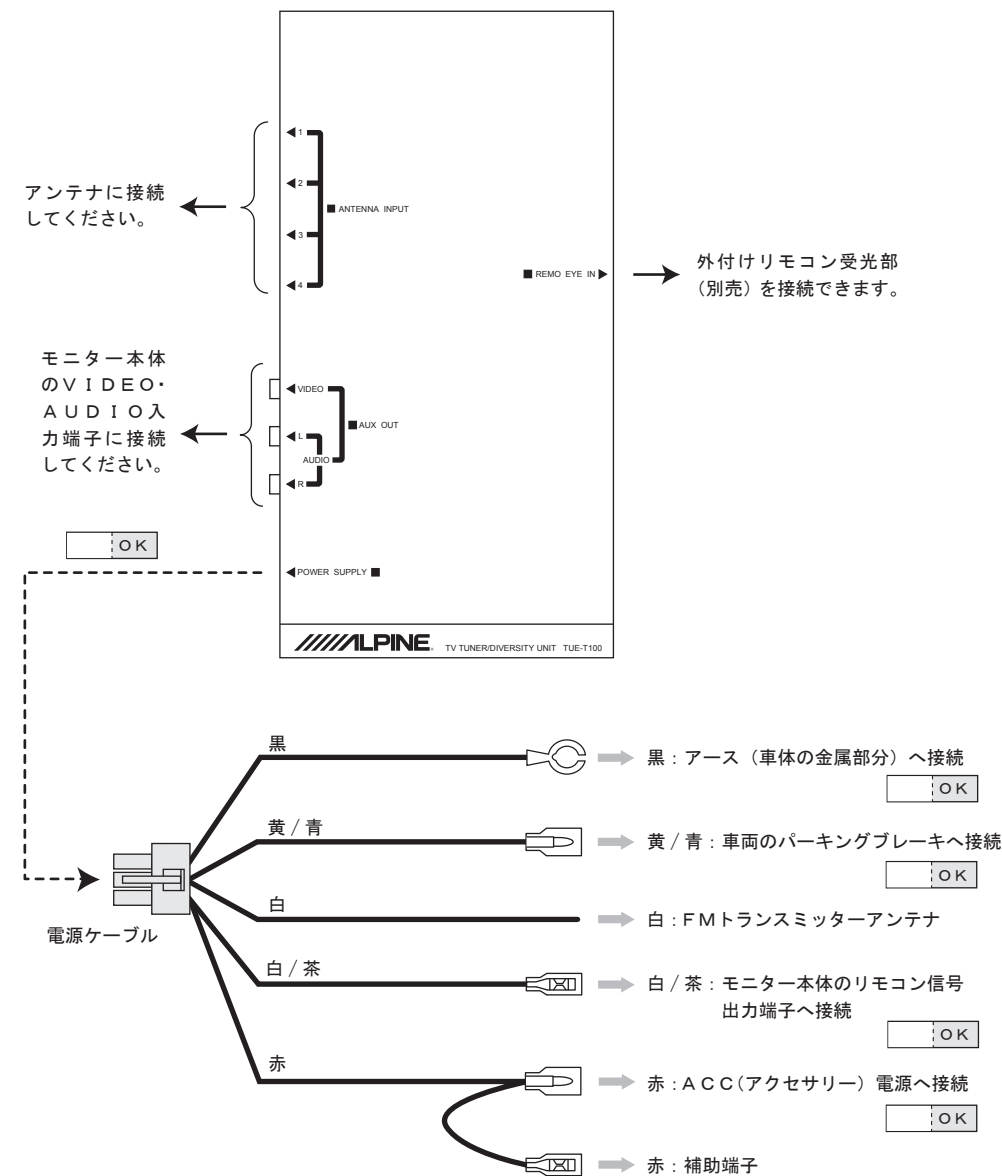


注意

正しい接続をする

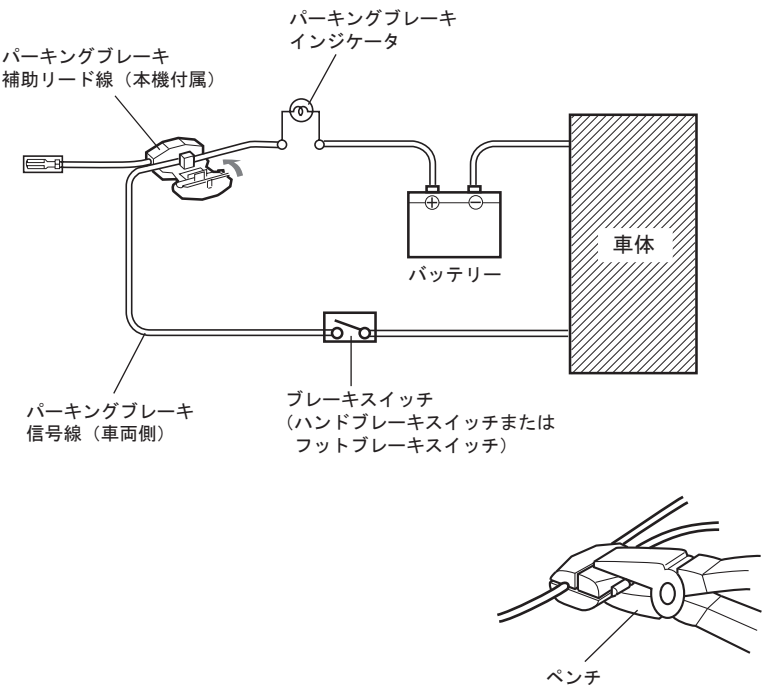
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

●TVチューナー接続図



パーキングブレーキを接続する

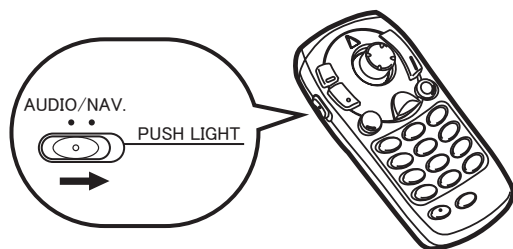
車両側のパーキングブレーキ信号線に、パーキングブレーキ補助リード線を装着する。



その他

リモコン操作対応表

本機に付属のカードリモコン、またはアルパイン製Ai-NET対応オーディオをお使いの場合、付属のリモコン（RUE-4134）で操作することができます。リモコンのAUDIO/NAV. スイッチをNAV側に切りかえてください。



アルパイン製Ai-NET対応
オーディオリモコン



TVチューナーリモコン

TVチューナー機能概要	カードリモコン（本機に付属）	NAVIリモコン（RUE-4134）
電源のON/OFF	POWER	電源
モニター入力モード切替（※）	MODE	---
モニター音量UP（※）	VOLUME +	---
モニター音量DOWN（※）	VOLUME -	---
プリセットUP	▲	JOY（↑）
プリセットDOWN	▼	JOY（↓）
マニュアルUP	▶▶	JOY（→）
マニュアルDOWN	◀◀	JOY（←）
TENKEY〔1〕	1	1
TENKEY〔2〕	2	2
TENKEY〔3〕	3	3
TENKEY〔4〕	4	4
TENKEY〔5〕	5	5
TENKEY〔6〕	6	6
TENKEY〔7〕	7	7
TENKEY〔8〕	8	8
TENKEY〔9〕	9	9
TENKEY〔0〕	0	0
SET UPモード	SET UP	メニュー
オートメモリー	A. MEMO	決定
BAND切替	BAND	検索
CH/CHリストを表示	---	現在地
SET UPモードを終了	SET UP	戻る
MAIN/SUB音声切替	---	View

※ALPINE社製モニター操作用であり、本TVチューナーは動作しません。

アドバイス

* 詳しい操作内容については、組み合わせる製品側の説明書を参照してください。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

接続・配線は正しく行われていますか？

下の表をもう一度ご確認ください。

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口にご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF/ONしてください。

それでも正常動作しない場合は、以下の表を参照して処置を行ってください。

症 状	原 因	処 置
動作しない	TVチューナーの電源が入っていない	TVチューナーの電源を入れる
	周囲の温度が高い	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を下げる
動作が不安定	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
	リモコンの受光部、送信部が汚れている	受光部、送信部を清掃する
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	電波が弱い	他の場所に車を移動して再確認する
	バッテリー電圧が低下している	バッテリー電圧 / バッテリー液量 / バッテリー液比重および配線を確認する（負荷状態で 11 ボルトを下回ると誤動作の原因となります）
映像が出ない	モニターのモード切りかえがご覧になりたいモードになっていない	ご覧になりたいモードに切りかえる
	パーキングブレーキコードを接続していない	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかける
	パーキングブレーキをかけていない	
映像が出ないまたは、動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする
「音」が聴こえない、聴きにくい	FMトランスミッター周波数がラジオの周波数と合っていない	ラジオの周波数を合わせる
	他のFM局と混信している	FMトランスミッター周波数を変更する

症 状	原 因	処 置
映像に斑点やし ま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、 自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する
映像が二重三重 になる。または ゆれる	近くの山やビルで電波が反射している	他の場所に車を移動する アンテナの位置、方向、高さを調整する
カーラジオに雑 音が入る	テレビ内部の高周波がカーラジオに混入	カーラジオのアンテナ線や配線をテレビ から離す

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品をなくしたり壊したりしたときは、
お買い上げ店に問い合わせてください。

保証について / 規格

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げの日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いときは、保証書記載（裏面）に従い修理させていただきますので、お買い上げ店、または「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品は、製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品をなくしたり壊したりしたときは、お買い上げ店に問い合わせください。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げ店または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

規格

	寸法mm/ 重量 g	T U E - T 1 0 0
リモコン部	使用電源 外形寸法 重量	リチウムボタン型電池 CR2025 1個 52(幅) × 110(高) × 10(奥行) 36 g
チューナー部	受信チャンネル 選局方式 音声送信周波数 外形寸法 重量	VHF1~12ch、UHF13~62ch PLL周波数シンセサイザー 76.8MHz~78.7MHz 200(幅) × 33(高) × 104.1(奥行) (突起含まず) 560 g
総合	電源電圧 動作温度範囲	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース) 5℃~35℃

アドバイス

- * 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- * 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。
- * 本説明書のイラストは印刷条件により印象が異なる場合があります。